# 平成 28 年度家庭エコ診断制度の事業成果について

### 1. 都道府県ごとの推定 CO<sub>2</sub> 排出割合(平成 28 年度)

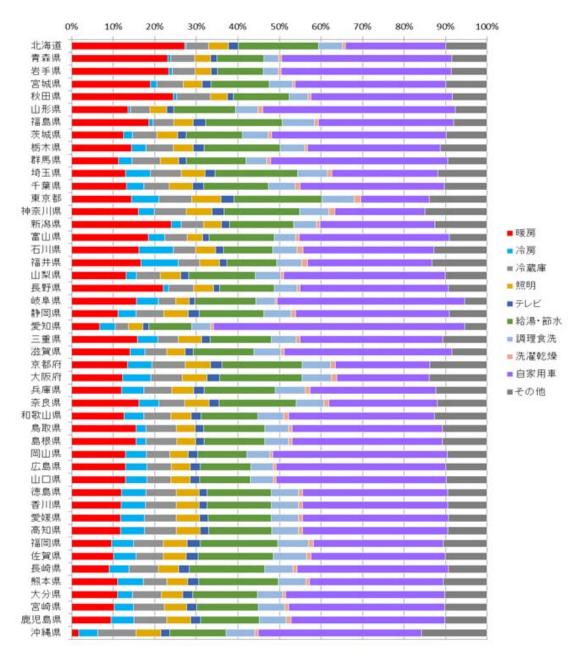


図 1 都道府県ごとの推定 CO<sub>2</sub> 排出割合

- ※1 うちエコ診断で得られる世帯別用途別 CO<sub>2</sub> 排出量のデータを都道府県別世帯人数別に推計し、都道府県別世帯人数別の CO<sub>2</sub> 排出原単位を作成した上で、都道府県ごとの世帯人数別世帯数(総務省国勢調査: 平成 22 年度)を乗じることにより、都道府県ごとの家庭からの排出割合を推計しました。
- ※2 ただし、沖縄県については、平成 28 年度事業においてうちエコ診断が実施されなかったことから、周辺の 県の値を参考に都道府県別世帯人数別の  $CO_2$  排出原単位を作成した上で当該件の世帯人数別世帯数を乗じ て推計しました。

# 2. 気候区分別の対策メニューの実施傾向(平成28年度)

# 表 2 気候区分別の受診世帯による選択数が多かった対策メニュー

# 気候区分 I

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	224	53	24%
2	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	200	49	25%
3	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	196	40	20%
4	部屋冷暖房	リビング等の暖房の設定温度を控えめにする	193	47	24%
5	部屋冷暖房	リビング等で暖房をする時間を3割短くする	174	36	21%
6	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	146	39	27%
7	部屋冷暖房	リビングで暖房をする時間を1時間短くする	142	36	25%
8	給湯筋水	シャワーの時間を3割減らす	125	36	29%

#### 気候区分Ⅱ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	55	22	40%
2	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	44	2	5%
3	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	41	4	10%
4	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	34	6	18%
5	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	28	8	29%
6	部屋冷暖房	リビングで暖房をする時間を1時間短くする	24	4	17%
7	部屋冷暖房	リビングの暖房の設定温度を控えめにする	24	7	29%
8	照明	居間の蛍光灯をLEDシーリングライトに付け替える	24	0	0%

#### 気候区分Ⅲ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	280	125	45%
2	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	199	54	27%
3	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	178	39	22%
4	部屋冷暖房	リビング等の暖房の設定温度を控えめにする	152	56	37%
5	部屋冷暖房	リビングで暖房をする時間を1時間短くする	147	41	28%
6	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	123	31	25%
7	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	122	51	42%
8	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	106	41	39%

### 気候区分IV

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	2393	1035	43%
2	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	1758	623	35%
3	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	1649	449	27%
4	部屋冷暖房	リビング等の暖房の設定温度を控えめにする	1405	615	44%
5	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	1374	384	28%
6	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	1195	491	41%
7	冷蔵庫	1台目の冷蔵庫を省エネ型に買い替える	971	199	20%
8	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	957	350	37%

#### 気候区分V

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	77	35	45%
2	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	42	11	26%
3	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	41	18	44%
4	部屋冷暖房	リビング等の暖房の設定温度を控えめにする	37	13	35%
5	自家用車	買物までの車の利用を半分にする	34	5	15%
6	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	32	12	38%
7	部屋冷暖房	リビングの冷房で、扇風機を使いエアコン利用を3割減	31	10	32%
8	給湯節水	お風呂のお湯を少なめにして半身浴をする	25	7	28%

気候区分に関係なく共通に選択されている対策
寒冷地域に特徴的な対策
温暖地域に特徴的な対策
赤字 買い替えに関する対策

<sup>※</sup> 気候区分については、一般社団法人建築環境・省エネルギー機構が示す「住宅事業建築主の判断基準」に基づき地域を区分したものです。

# 3. みなし CO2 排出削減量、および節約金額(平成 28 年度)

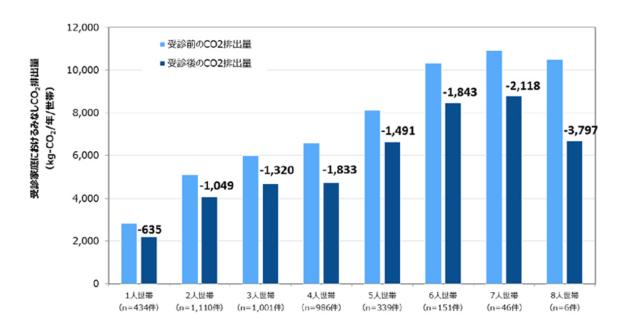


図 2 世帯人数別の診断前後の CO<sub>2</sub>排出量の比較

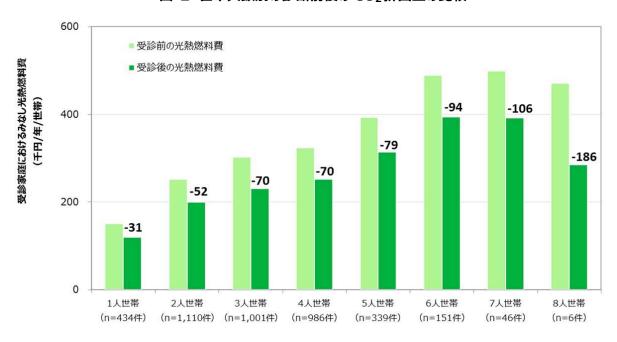


図 3 世帯人数別の診断前後のみなし光熱燃料費節約金額

- ※1 みなし  $CO_2$ 排出削減量とは、受診前の  $CO_2$ 排出量より受診後の  $CO_2$ 排出量を引いたものをここでは言います。なお、受診後の  $CO_2$  排出量は、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3 ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を 1 年間継続実行したとみなし、その結果削減された  $CO_2$  排出量を示します。
- ※2 みなし光熱燃料費節約金額とは、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施 した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果節約 された光熱燃料費を示します。
- ※3 節約金額については、設備投資金額が含まれていません。